

ふるさと未来講座「地域づくり」福井②

「居場所がひらく若者の未来」

多忙な高校生とつくる『余白』と『関係性』

日時：1月31日（土）14：00～15：30

講師：一般社団法人 mumm 代表理事 村上 純一郎 氏

会場：福井県生活学習館（ユース・アイ ふくい） 映像ホール

（若狭図書学習センター・敦賀市特設会場配信あり）



講座の前半は、ユースセンター「スプラウト」運営者でもある、村上氏のご講演でした。高校生などの、福井の将来を担う若者との関わり的重要性に関して、「教師や親ではない、第三者の大人と若者は、ナナメの関係性が重要」とのお話がありました。後半は、第三者の大人が若者とどのように関わっていくか、参加者どうして話し合いました。

「意見の共有ができて本当に嬉しかった」「村上様のように『箱』は作ることはできないが、『人』が居場所になると信じているので、今後の人生で何かしらの『居場所づくり』に貢献したい」「スプラウトのような、福井県に高校生のことを考えてくれる施設や人があることを知り、このような施設や人が増えていくと学生の救いになる」「ナナメの関係は、持ちつ持たれつだと思いました」「高校生にかける言葉はどのような言葉でも正解にも間違いにもなりえる、という村上様の言葉が印象に残りました」などの感想が寄せられました。